



かわしま

mail:y3kawash@edu.city.yokohama.jp

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawashima/

学校だより 6月号
平成23年6月3日
横浜市立川島小学校
校長 小池 慎一
TEL 371-0757
FAX 381-7248

赤かて白かて キラリ輝け！川島の子

学校長 小池 慎一

5月28日(土)に予定していた、K S F (川島スポーツフェスティバル)が、雨のため延期につぐ延期となってしまいました。楽しみにしていただいた保護者・地域の皆さまには、何日もお待たせをした上に、平日開催となり、大変申し訳なく思っています。また、平日開催にもかかわらず、多くの保護者・地域のみなさまのご参観をいただき、ありがとうございました。

さて、K S Fの練習で盛り上がっていたある日のこと、一人の子(A君としておきます)が担任の先生に連れられて、校長室にやってきました。

私「どうしたの？」

A君「…。」

私「何かあったの？」

A君「だって、白組の子たちが、悪口を言ったんだもん！」



そう言いながら、ぼろぼろと涙を流しています。よほど、悔しい思いをしたのに違いありません。話をよく聞いてみると、K S Fの練習が終わって教室に戻り、次の授業の準備をしている時間帯に、白組のクラスの子たちから「赤なんて弱い～」といったようなからかいの言葉を言われたそうです。A君は、自分たちの組全体が馬鹿にされたと思って、白組の教室に一人で入って行って悪口を言った子たちをやっつけようとしたようです。ちょうど、その時に担任の先生が見つけて、校長室に連れてきたというのが、事の顛末のようです。

大勢の人が同じ空間で過ごしていれば、他の人たちとの間に摩擦や葛藤は生じるものです。

子どもたちが大人になるまでの間に、こうした様々な問題をたくさん経験し、そうならないためにどう工夫すればよいか、なってしまったときどうやってそれらを乗り越えればよいか、自分の力で解決できるようになることを「学ぶ」場が「学校」だと私は思っています。

A君に、「演技や競技で思いっきり力を出すの？」と聞くと、ちょっと自信なさそうだったけれど「うん！」という返事が返ってきました。

私は、この日のA君の一途な熱い思いを大切にしたいと思います。

そして、そうした思いをどう実現するか、子どもたちが「学び」「成長」するために、様々な解決のしかたを自分自身の経験を増やす中で獲得して欲しいと思っています。

何より、こんなふうに熱い思いをしっかりと持てる、キラリ輝く川島の子がいることを、私は誇りにしたいと思っています。